

SAPIX	5年		
	算数		
学習内容	7月の学習内容 18回『割合(4)』 19回『場合の数(1)』 夏期講習1回『約数・倍数』 2回『規則性』3回『立体図形(1)』4回『2量の関係』5回『比と割合(1)』		
家庭学習ポイント	7月は、まず18回「割合(4)」で食塩水を学習します。基本問題から始まり「水入れ」「食塩入れ」「水分蒸発」「食塩水の混ぜ合わせ」など学習しますが、まだ本格的に「比」の学習をしていないこともあり、基本は食塩水中の食塩の量を計算するtぼいう考え方になります。そのため計算自体は煩雑ですが「その煩雑さに負けない作業力を要求する」というのがサピックスの方針です。19回では「場合の数(1)」を学習し、夏期講習に入ります。夏期講習では過去に学習した単元の復習も含めますが、毎日のようにカリキュラムが進んでいきます。A授業がなく復習の機会が家庭学習のみになってしまうこともあり、カリキュラムを「こなす」のが「自転車操業」になってしまわないよう注意しましょう。1回「約数・倍数」では「●●でわると■▲あまり・・・」といったものからタイル並べなど、入試でも頻出の約数・倍数の問題を網羅しています。2回「規則性」に関しても同様です。3回「立体図形」までは過去単元との重複もありますが、いよいよ4回「2量の関係」5回「比と割合(1)」からは新出内容に入ります。比に関してはこの夏最大のテーマであり、受験算数の核心の1つでもあります。しっかり身につけていきましょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	食塩水に含まれる食塩の重さを正しく計算できていますか？	チェック
	解決策	「公式丸覚え」ではなく「食塩水全体に対する割合」を計算することを理解しておくことが大切です	□
	チェック2	場合の数ではまず書き出しを徹底できていますか？	チェック
	解決策	書き出すことで一定の「決まり」を見つけ出し、その先に公式を理解することが大切です	□
	チェック3	基礎トレにコンスタントに取り組んでいますか？	チェック
	解決策	総合回以外の有効な「過去の復習ツール」として基礎トレは貴重です	□
	チェック4	夏期講習は復習の機会がふだんよりも少ないことを意識できていますか？	チェック
	解決策	授業で可能な限り100%理解することを心がけることも大切です	□
	チェック5	5年生の夏休み最大のテーマを理解していますか？	チェック
	解決策	算数においてはなんと言っても「比」の理解を深めることが最大の目的です	□
SAPIX	5年		
	国語		
学習内容	7月の学習内容 18回 コトノハ/母の写真 物語文 19回 コトノハ/所変われば 説明文 夏期講習1回「物語文」2回「説明文」3回「物語文」4回「説明文」		
家庭学習ポイント	第18回のA授業では、親の過去の活躍を知ることがテーマとなっています。最も身近な存在である親の過去を知ること、子どもの世界が広がるのではという目的です。物語文ではありますが、4年生の国語と違うのは素材文の中に「かんばしくない」「例によって例のごとく」「くさす」「ありありと」「古めかしい」などの慣用表現やふだん子どもが使わない表現が多用されていることです。素材文の読解を通して語彙をどんどん増やしていく必要がありますね。19回のA)授業は「所変われば」がテーマで、同じ動作でも国や文化によって表される意味が大きく違い、ときには真逆になってしまうことなどが説明されています。場所や時代による文化の違いは、入試問題などでも度々扱われるテーマです。夏期講習の国語授業は、全14日あるうちの10日。復習のサイクルはふだんの2倍から3倍のスピードとなります。夏が始まる前から心づもりをしておきたいですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	Aテキスト「漢字の学習」を有効に活用していますか？	チェック
	解決策	決められた個数、書き取りの練習をするだけでなく、成り立ちや例文もしっかり読みましょう	□
	チェック2	B授業の記述部分が空白だらけになっていませんか？	チェック
	解決策	記述はまず「とりあえず書いてみる」ことが大切です	□
	チェック3	Bテキストの記述の「手がかり」を書いていますか？	チェック
	解決策	この作業を意識的に行う(考えるだけでなく書く)ことがとても大切です	□
	チェック4	Bテキストの「読解教室」をしっかり活用していますか？	チェック
	解決策	本文を確認しながら穴埋めをしていきましょう	□
	チェック5	夏期講習会の「復習のペース」についてふだんとの違いを意識していますか？	チェック
	解決策	「ふだんの2~3倍のスピードになる」心づもりを	□

SAPIX	5年		
	理科		
学習内容	7月の学習内容 18回『血液の循環～人体③～』 19回『ふりこの運動～力学④～』 夏期講習1回『星(1)』2回『星(2)』3回『花のつくりと受粉』		
家庭学習ポイント	第18回は『血液の循環～人体③～』で、心臓と人体の血液循環について学習します。必須事項としては心臓の4つの部屋の名前と、どの器官につながる血液が流れているか、そして全身の血液の流れの模式図を把握しておくことです。特に「二酸化炭素が最も少ない血液が流れている血管」「食後最も栄養分が多い血液が流れている血管」などをしっかり理由とともに答えられるようにしておくことが大切です。第19回『ふりこの運動～力学④～』ではふりこの運動全般について学習します。「ふりこの長さ2×2倍⇒周期2倍」「ふりこの長さ3×3倍⇒周期3倍」という関係をしっかり押さえることがポイントです。その他の要因(ふりこのおもりの重さ・ふれはばなど)は周期には関係がないということをおさえておくことも大切です。夏期講習1回、2回は星の動きを学習します。主な星座と1等星の名前と色をおぼえるのはもちろん、今回は日周運動、年周運動について学んでいきます。日周運動は地球の時点=24時間で1回転、年周運動は地球の公転=12ヶ月で1回転が原因ですね。3回は花のつくりと受粉について学習します。		
課題の把握と解決策	チェック1	心臓の4つの部屋のうち、筋肉の壁がいちばん分厚いのはどこか答えられますか？	チェック
	解決策	左心室、全身に血液を送り出す「大動脈」につながっているからですね	□
	チェック2	ふりこの長さと周期の関係について正しく説明できますか？	チェック
	解決策	周期を2倍にするには長さを「2×2倍」に、3倍にするには「3×3倍」に、2乗の関係ですね	□
	チェック3	星は天球上を1時間に何度、どちらの方向に動くか説明できますか？	チェック
	解決策	24時間で360度ですから、1時間あたり $360 \div 24 = 15$ 度、東から西に動きます	□
	チェック4	星は天球上を1か月に何度、どちらの方向に動くか説明できますか？	チェック
	解決策	12か月に360度ですから、1か月あたり $360 \div 12 = 30$ 度、東から西に動きます	□
	チェック5	花のつくりから「何科の植物であるか」答えられますか？	チェック
	解決策	ヒルガオ科・ウリ科・マメ科・キク科・バラ科・アブラナ科・イネ科など押さえてくださいね	□
SAPIX	5年		
	社会		
学習内容	7月の学習内容 18回『人口問題』 19回『日本の交通・通信』 夏期講習1回『日本の国土』2回『日本の貿易』3回『日本の第一次産業(1)』		
家庭学習ポイント	18回「人口問題」の單元には、世界の代表的な地域の人口の話題が扱われています。地図で位置を確認し、代表的な地域や国について、気候や経済状況などのおおまかなイメージをもっておくことが大切です。「人口ピラミッド」については「なぜその形になるのか」を把握しておくことも重要です。19回「日本の交通・通信」では、新幹線について、発着点や分岐点となる駅を覚えておきましょう。新幹線は福岡から大阪までの「山陽新幹線」、大阪から東京までの「東海道新幹線」、東京から青森までの「東北新幹線」、青森から札幌までの「北海道新幹線」で日本列島を縦断するイメージに加え、博多駅から枝分かれする「九州新幹線」、大宮駅から枝分かれする「北陸新幹線」「上越新幹線」、福島駅から枝分かれする「山形新幹線」、盛岡駅から枝分かれする「秋田新幹線」と把握するといいですね。各輸送機関(自動車、鉄道、船、航空機)の特徴も頻りに問われるポイントです。夏期講習では、日本の地理について再度総復習し、9月以降歴史の学習に入っていきます。		
課題の把握と解決策	チェック1	人口ピラミッドの3つの代表的な形について、正しく説明できますか？	チェック
	解決策	先進国になるに従って「富士山型⇒つりがね型⇒つぼ型」に変化することも把握できていますか？	□
	チェック2	現在運行中の新幹線をすべて答えられますか？	チェック
	解決策	日本列島を縦断する「山陽新幹線」「東海道新幹線」「東北新幹線」「北海道新幹線」から覚えよう	□
	チェック3	夏休みはふだんより忙しいカリキュラムになることを理解していますか？	チェック
	解決策	1ヶ月あまりの期間に8回の単元を学習、つまりふだんの2倍程度の進行スピードです	□
	チェック4	夏休みは「地理のまとめ」の時期であること理解していますか？	チェック
	解決策	2学期は歴史の学習一色になります。その後の1月組分けテストには地理も出るので要注意です	□
	チェック5	社会の勉強はしっかりやっているのにマンスリーが悪い、という状況になっていませんか？	チェック
	解決策	テストに対応できない勉強の原因を突き止める必要があります	□